

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	17072	中学校給食実施事業	課名	教育総務課 施設・保健給食G	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長		款	10:教育費
	施策の方向	02:学びの環境の充実		項	03:中学校費
戦略プロジェクト	-	目		01:学校管理費	
事業予定期間	H 20 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等			

目的・概要	対象	亀山中学校及び中部中学校の生徒
	目的	家庭弁当の持参とデリバリー給食の選択ができる方式を通して、生徒が自らの昼食に関心を示し、食への関わりを持つ機会を与えるとともに、心身の成長が著しい中学生に対し、栄養バランスの考えられた昼食を提供する。
概要		亀山中と中部中における生徒の昼食を、家庭弁当の持参と給食の調理・予約注文・集金業務等を外部委託するデリバリー給食との選択性とし、各家庭のニーズや生徒の嗜好・栄養摂取を考慮した昼食の提供を実施する。また、中学校における給食のあり方に関する検討を進める。

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
事業の計画・実績	年度計画	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回 給食のあり方に関する検討	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回 給食のあり方に関する検討	デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 185回 給食のあり方に関する検討	
	年度実績	○デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 162回 ○給食の在り方に関する検討 ・生徒対象のアンケート調査の実施	○デリバリー方式による給食実施 ・年間実施回数 167回 ○給食の在り方に関する検討 ・児童生徒・保護者・教職員対象のアンケート調査の実施 ・「学校給食の在り方について」及び「学校給食提供に関する今後の方向性」を策定		
事業の計画・実績	計画額	事業費	44,400千円	44,800千円	44,800千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	44,400千円	44,800千円	44,800千円	
	予算額	事業費	44,305千円	42,700千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
	一般財源	44,305千円	42,700千円	0千円	
	決算額	事業費	38,131千円	41,769千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
地方債					
その他					
一般財源	38,131千円	41,769千円	0千円		
人件費	総人件費	5,494千円	5,487千円	0千円	
	一般職員	5,494千円	5,487千円	0千円	
	所要人員	0.70	0.70		
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(+)		43,625千円	47,256千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	デリバリー給食の実施率 年間実施回数/年間必要回数	活動	計画値	100	100	100
			実績値	100	100		
			単位	%	%	%	
	名称	生徒のデリバリー給食満足度 アンケートにおける肯定的回答の割合	成果	計画値	70	70	70
			実績値	82	55		
			単位	%	%	%	
	名称	保護者の試食会でのデリバリー給食満足度 アンケートにおける肯定的回答の割合	成果	計画値	90	90	90
			実績値	100	51		
			単位	%	%	%	

事業の改善	前評価	<p>【前回評価の対応方針の概要を記入】</p> <p>生徒のデリバリー給食に関する満足度向上のため、委託業者とメニュー改善に関する打ち合わせを行う。 中学校給食の完全実施に向けた児童生徒・保護者へのアンケート調査実施や、経費面などの検討など、多面的な検討を行う。</p>
	改善行動	<p>【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】</p> <p>委託業者の管理栄養士と献立内容の打ち合わせを綿密に実施した。 児童生徒・保護者・教職員へ学校の昼食に関するアンケート調査を実施、中学校給食の完全実施に向けた経費面などの検討を行い「学校給食の在り方について」及び「学校給食提供に関する今後の方向性」を策定した。</p>

		評価	(判定)
事業の評価	活動	<p>【計画どおりに実施できたか】</p> <p>学校の臨時休業期間を除き、必要な回数の給食を実施することができた。 新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者の試食会は実施できなかったが、委託業者との打合せ、児童生徒・保護者・教職員へのアンケート調査、中学校給食の完全実施に向けた多面的な検討については、計画どおり実施することができた。</p>	<p>A</p> <p>計画どおり実施できた</p>
	成果	<p>【成果は順調に上がったか】</p> <p>アンケート調査の結果、給食満足度としての肯定的回答の割合は昨年度より大きく下がっているが、多面的な検討を行った結果、「学校給食の在り方について」及び「学校給食提供に関する今後の方向性」として一定の方向性を定めることができた。</p>	<p>A</p> <p>十分な成果を得た</p>

今後の対応方針	課題	<p>【課題は何か】</p> <p>生徒のデリバリー給食に関する満足度向上のため、継続的なメニュー改善が必要である。 また、中学校における全員喫食制給食実施に向け、喫緊の教育環境整備との優先度を勘案しながら、実施時期について協議する必要がある。</p>	<p>今後の方向性</p> <p> <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p>【その他の場合、その内容を記載】</p>
	対応	<p>【課題に対し、どのように対応するか】</p> <p>生徒への定期的なアンケート調査や委託業者とのメニュー改善に関する打ち合わせを継続する。 また、中学校における全員喫食制給食の実施時期について、教育委員会が抱える重要な施策の実施と整合を図る。</p>	
	効果	<p>【対応することで、どのような効果が期待できるか】</p> <p>生徒の食に関する関心を深めるとともに、デリバリー給食の内容の改善を図ることが期待できる。 中学校給食の完全実施に向け、事業の実施時期等の整理を行うことができる。</p>	
対応時期		令和3年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 教育総務課 保健給食グループリーダー 渡邊 尚也
【最終評価者】	教育委員会事務局 教育総務課長 岡安 賢二

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	
	成果	A	B	A	A	

令和2年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		42,700 千円
内訳	令和元年度からの繰越額	千円
	令和2年度の最終予算額	42,700 千円
	令和3年度への繰越額	千円